

一般質問発言項目

※太子は下で紹介している質問(紙面の都合上1人2問以内、発言議員本人提出)です。

◎発言順に掲載

●谷口 修(自民党・保守クラブ・安佐南区) 広島市の総合計画/観光政策/区行政/西風新都

●伊藤昭善(市政改革ネットワーク・安佐北区) 高齢者いきいき活動ポイント事業等/恵下埋立地建設工事の進捗状況/自転車盗難防止対策/学校納入金の振替え手数料/有害鳥獣対策等

●今田良治(自由民主党・安佐北区) 平和推進に関する取り組み/平和記念公園の寄附樹木/高齢者いきいき活動ポイント事業/バス再編計画/安佐市民病院建替え/安佐市民病院跡地/終着駅サミット

●平木典道(公明党・東区) 非常勤・臨時職員の処遇改善/自転車の安全・適正な利用促進条例/メンタルヘルス/放射線影響研究所の移転/8月6日の平和学習

●中森辰一(日本共産党・西区) 平和都市にふさわしい都市に向けて

●森本健治(広島市民クラブ・中区) ピースツーリズムにつながる「稼ぐ観光」/子供に視点を置いた地域コミュニティの再生/西広島バイパス高架延伸事業の再開

●若林新三(市民連合・安佐北区) 路面電車の電停の統合/広島市中央市場と東部市場の統合/放射線影響研究所の移転/国連軍縮会議の期待と成果/電子メディアの適正利用と犯罪抑止

●八軒幹夫(自由民主党立風会・南区) 国民保護/被爆体験伝承者養成事業

●児玉光禎(自民党・保守クラブ・佐伯区) 公務活動費/教育行政

●沖宗正明(市政改革ネットワーク・安芸区) 日米地位協定とHIROSHIMA

広島市総合計画の策定

問 新しい広島市総合計画策定のスケジュールはどのように考えているのか。

答 期間満了が近づいている第5次市基本計画に代わる新しい総合計画策定の具体的なスケジュールとしては、30年1月末に公募による市民委員も参画する総合計画審議会を設置し、計画改定の諮問を行い、30年度から具体の審議に入るとともに、各区のまちづくり懇談会を開催する。31年度には総合計画の素案を作成し、市民意見募集を行い、32年度までに審議会から答申を受け、議会の議決を経て策定することとしている。その過程で、議会に報告、意見を頂きながら、計画づくりを着実に進めたいと考えている。



谷口 修 自民党・保守クラブ

環状線(善當寺工区)

問 市が本年度購入した善當寺工区の環状線の建設計画をどのように考えているのか。

答 同工区の整備は、現在、年度中に成果をとりまとめることとしている。30年度は地形測量と詳細設計を行う予定で、31年度には一部区間の工事に着手したいと考えている。完成時期は西風新都推進計画において42年までに整備すると定めているが、できるだけ早期に完成できるように取り組んでいきたいと考えている。



高齢者いきいき活動ポイント事業の徹底を

問 十分な内容検討や周知を図れないまま事業を開始したことにより、ポイント付与の可否や地域団体に事業の管理や運営の負担を強めていることの混乱に対し、どう考えているのか。



伊藤昭善 市政改革ネットワーク

答 早急に運用上の課題を把握するよう指示をしている。年度内には対応方策をとりまとめ、今年10月の奨励金支給までを一つのサイクルと捉え、PDCAサイクルを実施するよう指示したところである。これにより、来年度当初よりこれまでに生じている運用上の疑義等を解消し、円滑な事業運営を図っていききたいと考えている。前例のない本事業を制度として定着させるには、一定の期間改善を重ねる必要があると考えている。

有害鳥獣対策見直しを

問 駆除班の緊急出動に関する報償金及び捕獲物の処理費等について、その苦勞に見合う経費の支払いを望むが、市の考えはどうか。

答 緊急出動した駆除班が安全かつ迅速に活動できるようにするためにも、処遇改善は重要であると考えている。本年度から、報償金の一出勤当りの上限額を1万円から2万円に引き上げており、シカの処理費については、処理に対する負担が大きいため、一頭当たり千円引き上げたところである。



シカ

高齢者いきいき活動ポイント事業

問 事業が始まって3ヶ月が経過したが、高齢者や活動団体の反応はどうか。そうした声を受け止め、より良い制度への改善に継続して取り組むべきではないか。

答 制度を評価する声がある一方、管理者への負担を危惧する声などもある。現在、運用上の課題について、各区役所はじめ関係団体等からの聴取を始めており、年度内に対応の方策をとりまとめることとしている。新しい制度を浸透させるには一定の期間改善を重ねることが必要であり、今後とも地域の実情等を勘案しつつ、必要に応じ、着実かつ実効性のあるプロセスを経て見直しを行い、より良い制度に高めていきたいと考えている。



今田良治 自由民主党

安佐市民病院建て替え

問 新安佐市民病院の建設予定地である荒下地区の土地区画整理事業はどのように進んでいるか、また同病院の基本設計ではどのようなことを行っているのか。

答 同地区の土地区画整理事業は、既に地元地権者から土地区画整理法に基づく組合設立認可申請書が提出されており、市が認可すれば土地造成工事に着手する段階になった。昨年2月に着手した基本設計では、建物の外形、各部門や病棟の配置、患者や医療スタッフ、物流の動線の設定等を進めているところであり、併せて新病院の強みとなる医療機能の精査を行っていく。

非常勤・臨時職員の処遇改善

問 非正規職員の待遇改善を行うための法律が改正されたが、その実施に向けたスケジュールはどうか。制度の移行により、待遇はどう改善されるのか。



平木典道 公明党

答 総務省がマニュアルを定めており、制度が実施される32年4月までの想定スケジュールが示されている。市においても、このスケジュールを参考に制度導入に向けた各種の検討を進めていく。制度移行後は期末手当が、加えて場合によっては時間外勤務手当、地域手当、退職手当等の支給等ができるようになる。制度移行に当たっては、職員体制のあり方や財政負担等も踏まえ、関係者とも協議しながら検討していきたいと考えている。

8月6日の平和学習

問 8・6の平和学習の開催について、国と協議する旨の答弁を6月議会でされているが、どのような状況なのか。結論は出ているのか。

答 国との協議が整い、法令上休日勤務が可能な業務は学習指導要領に定める学校行事等に限定されているが、これまで教育課程外の取り組みとして実施していた平和学習を、学校行事として実施する方法に見直すこととした。その上で各学校が毎年度自主的に諸状況を勘案して実施するものとし、確実に休日の代休日指定できるように各学校に徹底することとした。



広島市立平和学習センター

実態に沿った保育所増設を

問 市は年度当初の待機児童数だけに対応しているが、月を追うごとに待機児童が増え、今年度も10月末で1400人も待機児童がいる。これを解消する増設計画にしないと待機児童問題は解決しないかどうするのか。

答 これまで、保育園や小規模保育事業所新設等のハード面と、保育士の処遇改善等のソフト面に取り組んでおり、待機児童解消に一定の成果を上げていくところである。今後、もこうした対応に注力する必要があると考えており、議員ご指摘の状況は重く受けとめているが、まずは30年度当初の待機児童の解消に向け取り組んでいく。



保育所

西広島バイパス高架延伸事業

問 早期再開を国に強く働きかけていくためには、地元経済界の動きとも連携しながら進めていくことが重要だと思いが、早期再開にむけての覚悟を聞きたい。



森本健治 広島市民クラブ

答 議員ご指摘のとおり、地元経済界の積極的な動きと連携を図りながら、事業再開に向けた取り組みを着実に進めていくことが重要になっていくと考えており、地元経済界の動きと連携した取り組みを改めて強化するといった動きにもなっている。今後は、同事業の早期再開、早期完成に向け、着実に前進するよう不転の覚悟で取り組んでいく。



西広島バイパス高架

差別扱いをしていいか

問 放課後児童クラブ延長保育を有料で実施すると、親の事情で登録児童なら30分前に入れるが、そうでない子は入れてもらえない差別的な扱いをせざるを得ないのではないか。そんなことをすべきではないか。

答 保護者に丁寧に説明する場を設け、十分に周知を図ることににより確実に申込みを行っていただくよう努める。それにも拘わらず、登録外児童を延長時間帯に保育するような状況が続けば、まずは児童を預かった上で、申込みをしている保護者との公平性の観点から、当該児童の保護者に対し利用を促すなど粘り強く指導を続けていく。

高校生からの提言の具体化

問 観光客が旅行先で情報を入力する方法について、QRコードとスマートフォンを活用した観光振興の取り組みを具体化してはどうか。

答 効果的かつ現実的な提案だと考えている。現在、観光キャンペーンでQRコードを用いた取り組みを実施しており、現在検討中のピースツーリズム推進事業でARの活用を計画している。引き続きスマートフォンや様々なICT技術を活用し、観光客が訪問先で情報を入手できる仕組みをつくり、フリーWi-Fiの整備を進め、観光客の利便性や満足度の向上を図っていく。